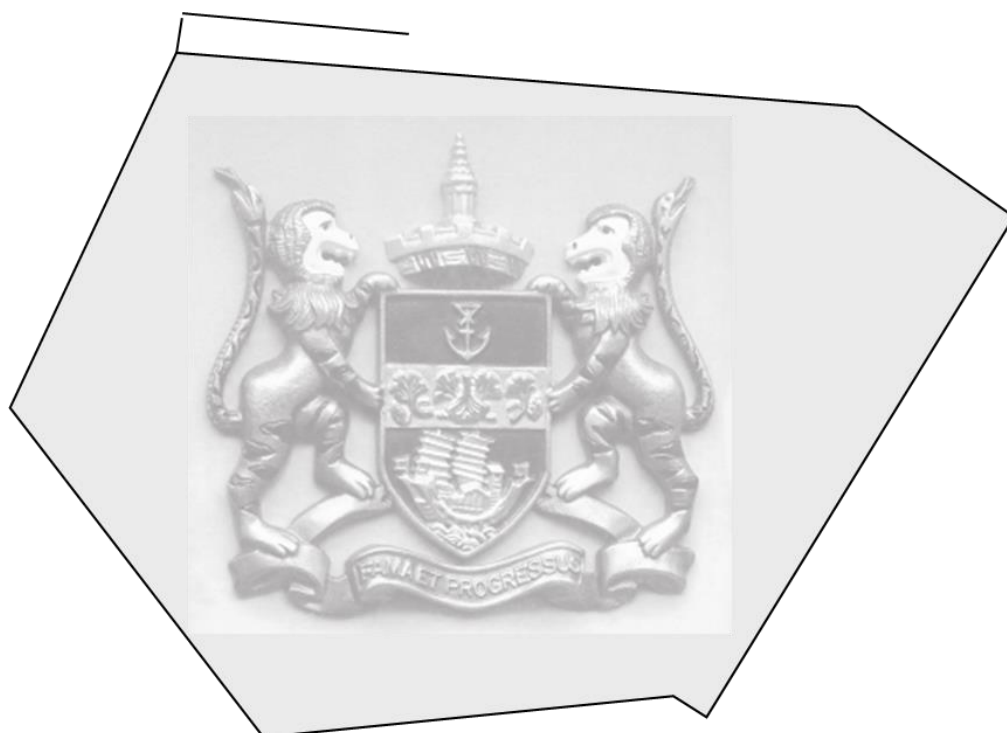


夢洲土地造成監理に係るガイドライン



令和4年9月

大 阪 港 湾 局

一般財団法人 港湾空港総合技術センター

目 次

1. はじめに	1
2. 「夢洲土地造成監理連絡会」の設置について	1
3. 夢洲域内で発生する残土の処分について	1
4. 土壌汚染対策法に基づく届出等について	3
(1) 形質変更時要届出区域内における土地の形質変更届出【法第12条】	3
(2) 汚染土壌の区域外搬出届出【法第16条】	3
(3) 管理票制度【法第20条】	3
5. 夢洲土地造成監理システムについて	4
(1) 夢洲土地造成監理システムの構築	4
(2) システムの概要	7
(3) システムの運用・管理	7
6. 夢洲土地造成に係る工事着手までの手続きについて	7
6-1. システムの利用に関する手続き	7
(1) システム利用申請書の提出	7
(2) システム利用受領書の交付	8
(3) R F I Dの貸与	8
(4) 工事基本情報の登録	8
(5) 土砂運搬（工事着手）準備	10
(6) 土砂運搬状況の確認	10
6-2. 夢洲域内残土運搬予定表の提出	10
7. 夢洲土地造成監理に係る工事中的手続きについて	11
7-1. 汚染土壌搬出実績の報告	11
7-2. システムの確認とデータの保存	11
(1) 確認	11
(2) 計量エラー	12
(3) 保存	12
8. システムの利用について	13
(1) システムの運用・管理	13
(2) システム利用の中止	13
(3) システム利用の期間	14
9. 夢洲土地造成監理に係る連絡調整について	14
(1) 連絡調整の実施方法	14
(2) 連絡調整事項	14
10. 夢洲土地造成監理に係る工事完成後の手続きについて	15
11. その他	15
(1) 協力要請	15

巻末資料1：土地造成工事全体進捗状況

巻末資料2：土砂運搬予定数量表

資料1 「夢洲土地造成監理連絡会会則」

資料2 「管理票」（様式）

資料3 S C O P E（夢洲土地造成連絡会事務局）（位置図）

<様式1> 「夢洲土地造成監理システム利用申請書」

<様式2> 「土砂搬出開始時運搬計画表」

<様式3> 「夢洲土地造成監理システム利用受領書」

<様式4> 「週間実績・予定表」

<様式5> 「土砂運搬完了報告書」

1. はじめに

夢洲においては、2025 年国際博覧会の開催や IR の開業に向けた施設の建設事業および関連するインフラ施設の整備事業の工事（以下、「夢洲関連工事」という。）が進捗する中、「夢洲土地造成監理連絡会」（以下、「連絡会」という。）を設置し、工事の連絡調整、および情報共有を行い、夢洲土地造成監理を、一元的かつ円滑に実施することとしてきた。

本ガイドラインは、夢洲域内において土壤汚染対策法の規定により指定された要措置区域等（形質変更時要届出区域）内の土地の土壤を、要措置区域等外に搬出し埋立処理する管理を、一元的かつ適切に実施するために構築する「夢洲土地造成監理システム」の利用に係る手続きや、利用方法などを説明するとともに、夢洲土地造成監理を円滑に実施するための必要な調整事項等の説明を行うものである。

2. 「夢洲土地造成監理連絡会」の設置について

① 目的

夢洲土地造成（残土埋立処分等）の監理を一元的かつ円滑に実施するための、発注者と受注者および受注者間の連絡調整等

② 構成

発注者（大阪市、埋設企業体、2025 年日本国際博覧会協会、鉄道事業者、IR 事業予定者）

受注者（各工事）等

③ 事務局

大阪港湾局計画整備部工務課

一般財団法人 港湾空港総合技術センター（以下、「SCOPE」という。）

④ 規則

「夢洲土地造成監理連絡会会則」〔資料 1〕

3. 夢洲域内で発生する残土の処分について

夢洲域内においては、土壤汚染対策法の基準超過土が確認されたことから、竣工地を形質変更時要届出区域（埋立地特例区域）に指定し、未竣工地を自然由来等土壤海面埋立施設として、土壤汚染対策法に基づき、夢洲域内で発生する残土については、夢洲域内で適切に処分（埋立処理）することとしている。

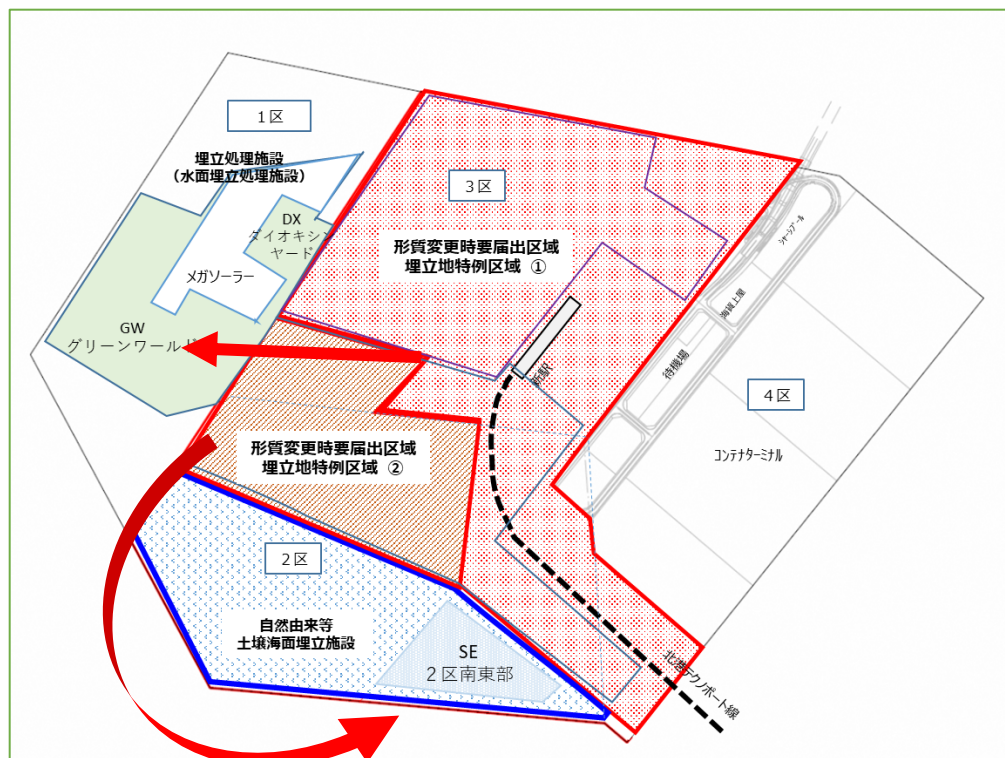


図-1 夢洲域内の形質変更要届出区域など

表 1 土壤汚染対策法に基づく形質変更時要届出区域台帳

整理番号	整-令-2-23	指定年月日・指定番号	令和3年1月22日・届指-348号	所在地	大阪市此花区夢洲中一丁目1番1の一部、1番2、1番3、1番4、1番5、1番6、1番7、1番8、1番9、1番10、1番11、1番12、1番13、1番14、1番16、1番17、1番18、1番19、1番20、1番21、1番22、1番23、3番1、3番3、3番4、3番5、3番6、夢洲東一丁目2番1、2番3の一部、2番12、2番13の一部、2番39、2番40の一部、2番41、2番45の一部、2番46、14番1の一部、14番2、地先の一部	
調製・訂正年月日	令和3年1月22日調製、 令和3年2月8日訂正、 令和3年7月28日訂正、 令和4年2月16日訂正、 令和4年5月12日訂正、	令和3年2月2日訂正、 令和3年3月12日訂正、 令和3年8月31日訂正、 令和4年2月16日訂正、 令和4年6月21日訂正、	令和3年2月3日訂正、 令和3年3月22日訂正、 令和3年8月31日訂正、 令和4年2月16日訂正、 令和4年7月12日訂正、	令和3年2月3日訂正、 令和3年3月25日訂正、 令和3年9月24日訂正、 令和4年3月1日訂正、 令和4年7月13日訂正、	令和3年2月3日訂正、 令和3年6月16日訂正、 令和3年9月24日訂正、 令和4年3月3日訂正、 令和4年7月21日訂正、	令和3年2月3日訂正、 令和3年7月19日訂正、 令和4年1月24日訂正、 令和4年3月22日訂正、 令和4年8月19日訂正
形質変更時要届出区域の概況		空地、道路			面積	1,626,233.53㎡
法第14条第3項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨				一部の区域について法第14条第3項の規定に基づく指定		
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった土壌汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨、当該試料採取等の対象としなかった深さの位置及び特定有害物質の種類				敷地全域の速やかな区域指定のため、施行規則第13条の2第1項の規定に基づき試料の採取等を行う区画の選定等を省略		
土壌汚染のおそれの把握、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該省略の理由						
汚染の除去等の措置が講じられた形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該汚染の除去等の措置						
第58条第5項第10号から第13号までに該当する区域にあつては、その旨				第11号（埋立地特例区域）に該当		
形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状況	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称
	令和2年12月21日	鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、 ふっ素及びその化合物		含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		一般財団法人 関西環境管理技術センター

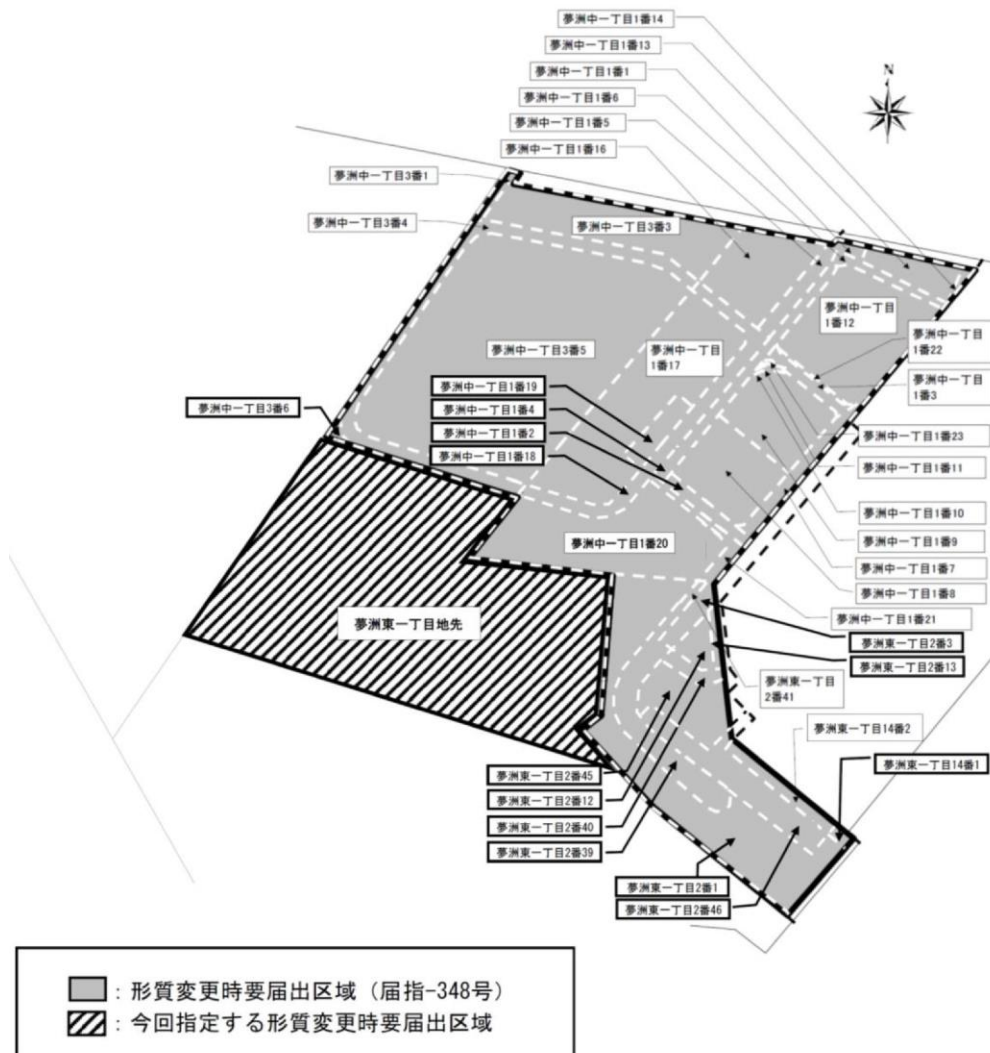


図-2 土壤汚染対策法に基づく形質変更時要届出区域図

表2 夢洲における土壤汚染対策法にかかる用語について

名 称	内 容
形質変更時要届出区域	(大阪市) 指定年月日：令和3年1月22日 指定番号：届指-348 【概要】 土壌の特定有害物質による汚染状態が要措置区域の指定に係る基準のうち汚染状態に関する基準に適合せず、要措置区域の指定に係る基準のうち健康被害が生じるおそれに関する基準に該当しないと認められ、当該土地の区域を形質変更時要届出区域として指定されたもの
埋立地特例区域 【夢洲2・3区】 (竣工地)	整理番号：制-令-2-23 指定番号：届指-348号 【概要】 汚染状況が土地の造成に係る水面埋立てに用いられた土砂に由来するものであって、かつ人為的に由来するおそれがない区域等として指定されたもの
水面埋立処理施設 【夢洲1区】	処理施設名称：大阪市北港処分地（夢洲） 許可番号：第11800100005号 許可の年月日：令和2年3月25日 管理者：大阪広域環境施設組合 【概要】 水底土砂判定基準に適合した汚染土壌を水面に埋め立てる施設
自然由来等土壌海面埋立施設 【夢洲2区南東部】 (未竣工地)	処理施設名称：夢洲2区埋立処分地 協議の成立年月日：令和3年1月22日 管理者：大阪市（大阪港湾局） 【概要】 水底土砂判定基準に適合した自然由来等汚染土壌を海面に埋め立てる施設

4. 土壤汚染対策法に基づく届出等について

夢洲域内発生残土の処分に際しては、工事着手の14日前までに土壤汚染対策法に基づく必要な届出を行わなければならない。届出先は大阪市環境局環境管理部環境管理課であり、事前協議も含め日程には留意すること。

なお、各発注者は、届出に際して関係先（各事業調整担当部署等）と十分な調整・協議のうえ、各受注者への指導を行うこと。

（1）形質変更時要届出区域内における土地の形質変更届出【法第12条】

形質変更時要届出区域内で、土地の形質の変更をしようとする者は、届け出なければならない。

「土地の形質の変更」とは、土地の形状又は性質の変更のことであり、例えば、宅地造成、土地の掘削、土壌の採取、開墾等の行為。

（2）汚染土壌の区域外搬出届出【法第16条】

形質変更時要届出区域内的の土地の土壌を、区域外に搬出しようとする者は、届け出なければならない。

（3）管理票制度【法第20条】

汚染土壌を形質変更時要届出区域外へ搬出する者、運搬を受託した者及び処理の状況を管理票により管理しなければならない。

管理票とは、要措置区域等から搬出された汚染土壌が、適正に運搬、処理等されたことを確認する

ために、交付されるもので、汚染土壌の引渡しと同時に、管理票も回付し、回付される中で必要事項が記載されるもの。

管理票の回付を受けた者は、必要事項の記載や写し送付が義務付けられており、管理票の保存（5年間）が義務付けられている。

（夢洲土地造成監理システムで使用する予定の管理票）

「管理票」（様式）　〔資料2〕

5. 夢洲土地造成監理システムについて

（1）夢洲土地造成監理システムの構築

夢洲域内の発残土（汚染土壌）を適切に処分（埋立処理）する残土処分管理を一元的に実施するための「夢洲土地造成監理システム」（以下、「システム」という。）を構築する。

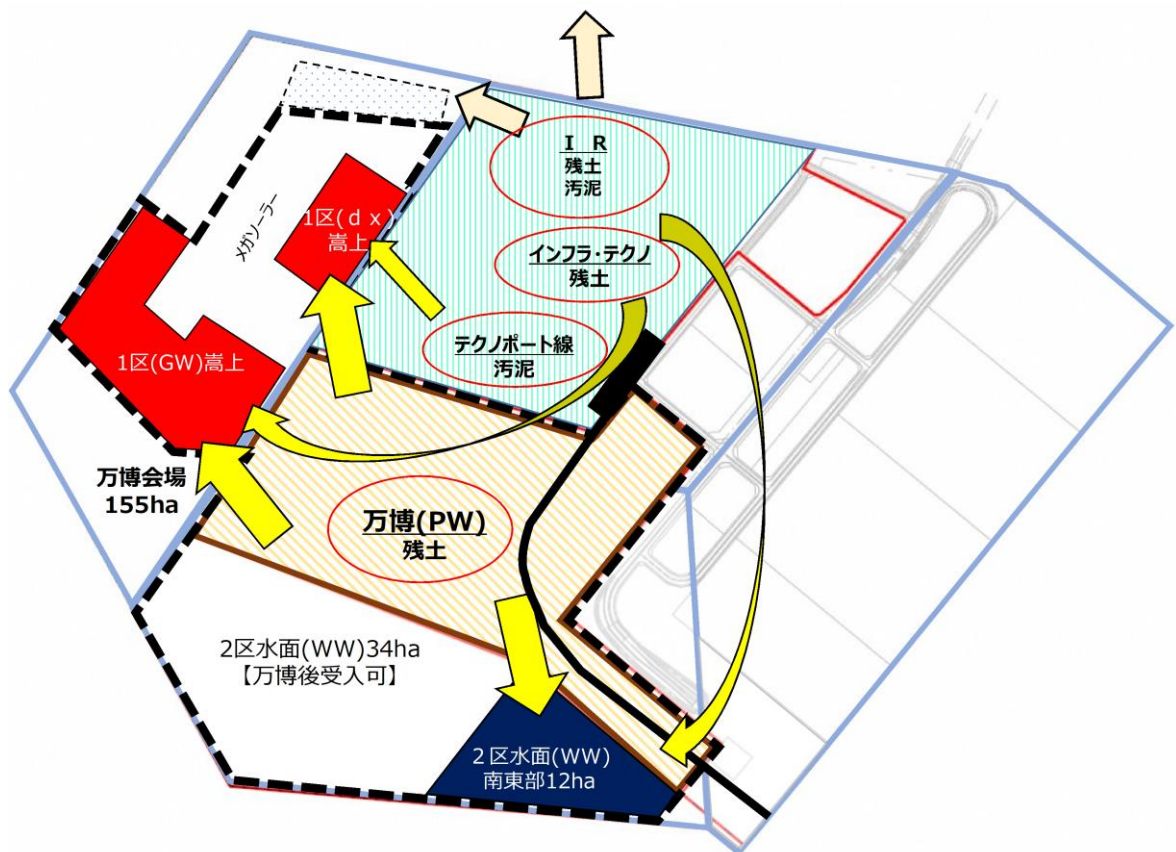


図-3 夢洲域内残土処分イメージ

ナンバープレート認識システム（車両識別） + RFIDタグ・アンテナ（工事識別）

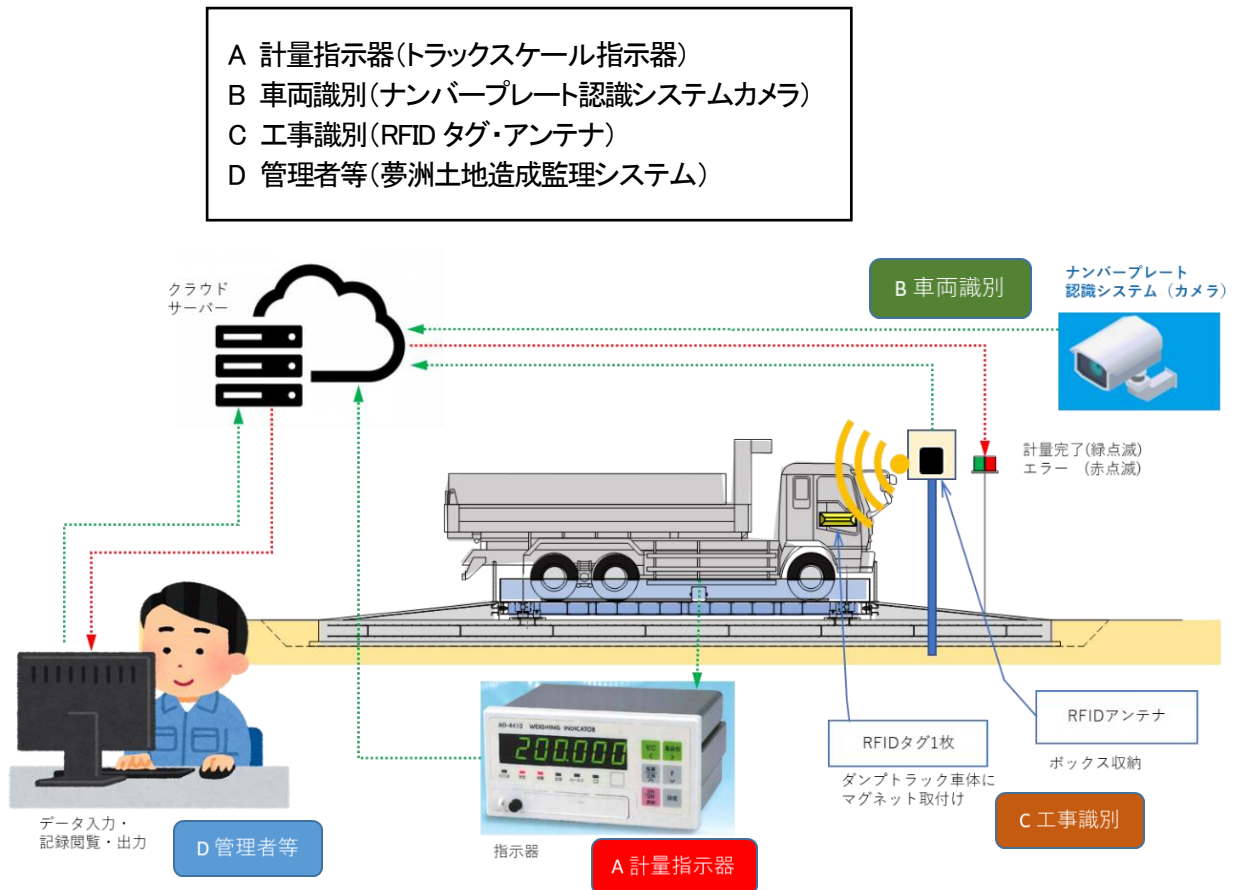


図-6 夢洲土地造成監理システムイメージ図

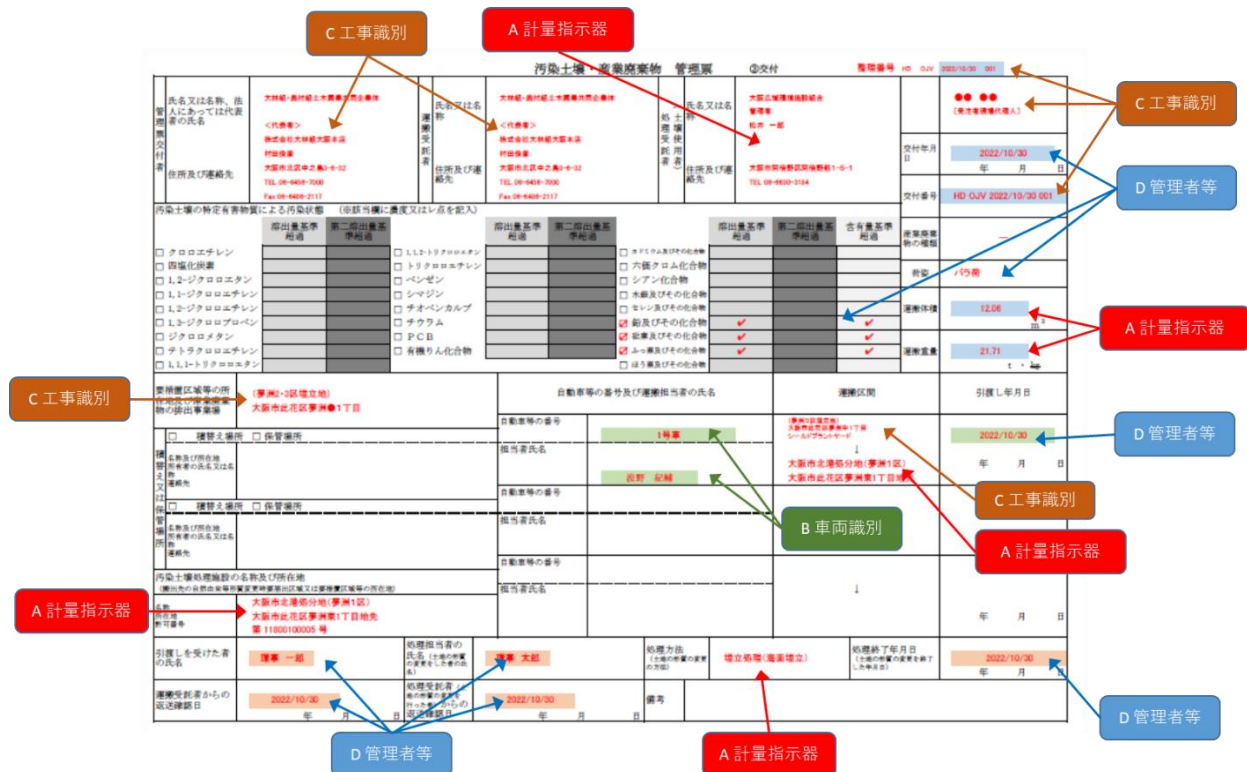


図-7 夢洲土地造成監理システムによる管理票の自動作成

(2) システムの概要

夢洲域内の発生残土(汚染土壌)を埋立処理するために、運搬車両で搬出する際に、トラックスケールにより搬出土量を自動計量し、車番認識カメラにより運搬車両の情報、及び工事識別タグ* (以下、「RFID」という。)により当該工事の情報を自動識別することで、汚染土壌の区域外搬出にかかる管理票をクラウドサーバーにおいて自動作成し、WEBにより一元的に管理する。

管理票の交付から送付まで、一連作業を一括して処理し、電子データによる保存も可能とする。

*電波を用いて情報を非接触で読み書きする自動認識技術

(3) システム運用・管理

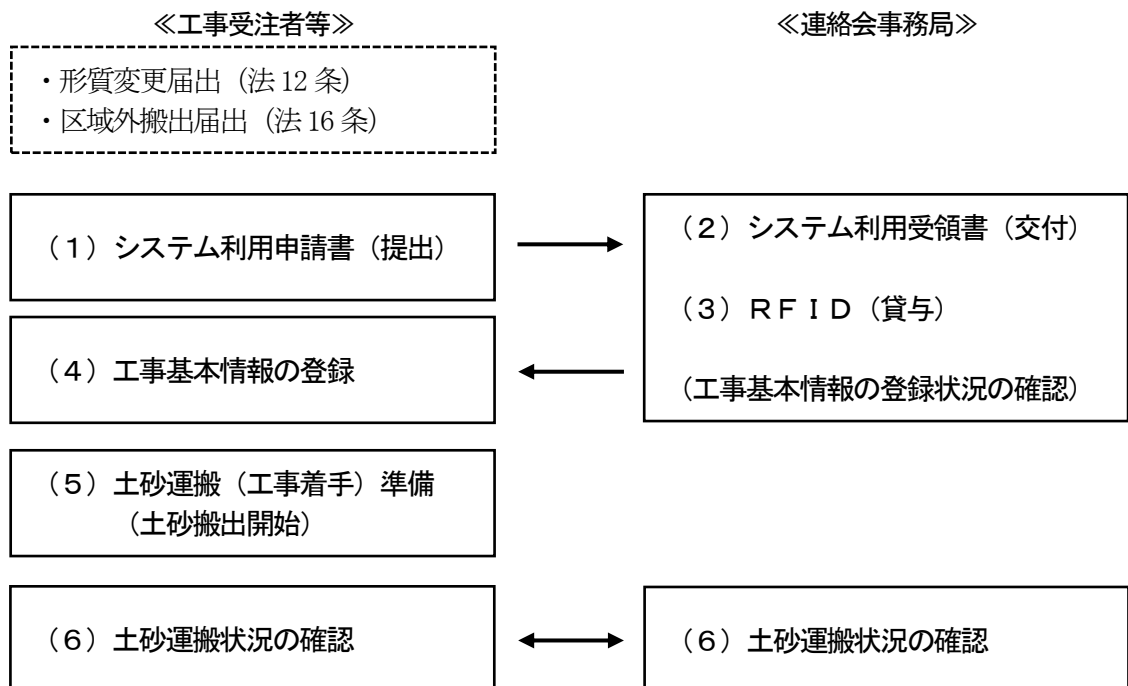
システムは、クラウドサーバー上でデータ処理を行うため、ユーザーからのデータの閲覧、出力が可能であり、日々の進捗状況の確認が容易にできる。また各工区責任者や発注者は、管理する工事の全体を確認することができる。

各ユーザーに対し、ID・PWを付与し、閲覧区分などを適切に管理する。

6. 夢洲土地造成に係る工事着手までの手続きについて

6-1. システムの利用に関する手続き

システム利用申請から工事着手までのフローを示す。



(1) システム利用申請書の提出

申請書 : 「夢洲土地造成監理システム利用申請書」<様式 1>

申請者 : 受注者、発注者または工区等責任者

提出先 : SCOPE (夢洲土地造成連絡会事務局)

提出方法 : 電子メール (e-mail) など

添付資料 : 汚染土壌の区域外搬出届書(写し)

「土砂搬出開始時運搬計画表」<様式 2>

注) 10 t ダンプ以外を利用する場合は、個別に事前協議をお願いします。

(2) システム利用受領書の交付

受領書：「夢洲土地造成監理システム利用受領書」＜様式3＞
交付者：SCOPE（夢洲土地造成連絡会事務局）
交付先：「システム利用申請書」申請者
交付方法：電子メール（e-mail）など

(3) RFIDの貸与

システム利用申請に基づき、RFIDの貸与準備ができ次第、SCOPE（連絡会事務局）より連絡するので、RFIDの必要個数の貸与を受けること。

【貸与場所】：SCOPE（夢洲土地造成連絡会事務局） 位置図参照〔資料3〕

一般財団法人 港湾空港総合技術センター近畿支部 大阪咲洲支所
大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟4階（J-3）
電話：06-6105-0255
e-mail: yumeshima@scopenet.or.jp

(4) 工事基本情報の登録

交付されたID・PW、貸与されたRFIDにより、システムに工事基本情報の登録を行う。

■「夢洲土地造成監理システム操作マニュアル」参照

表3 基本情報入力項目

項目	入力内容
① 管理票交付者	受注者（JVの場合は代表会社）
② 運搬受託者	受注者（又は産廃運搬受託者（許可業者））
③ 処理受託者	（夢洲1区）大阪広域環境施設組合 （夢洲2区）大阪市
④ 交付者	現場代理人又は担当者
⑤ 産業廃棄物の種類	シールド汚泥以外は「ー」と入力。「汚泥（建設汚泥処理後物）」
⑥ 荷姿	バラ荷
⑦ 要措置区域等の住所	夢洲1区gw、dx（汚染土） （夢洲2・3区埋立地） 大阪市此花区夢洲1丁目 夢洲1区dx（シールド汚泥） （夢洲3区埋立地） 大阪市此花区夢洲1丁目 シールドプラントヤード
⑧ 使用車両情報の入力	車種、車番、空車重量、運搬会社名、運転手名
⑨ 運搬区間（搬出元）	要届出区域（夢洲2・3区埋立地） 大阪市此花区夢洲東1丁目地先
⑩ 運搬区間（搬出先）	夢洲2区埋立処分地 大阪市此花区夢洲東1丁目地先 夢洲1区埋立処分地 大阪市此花区夢洲東1丁目地先
⑪ 汚染土壌処理施設の名称	所在地：大阪市北港処分地（夢洲1区） 大阪市此花区夢洲東1丁目地先 許可番号第11800100005号 所在地：夢洲2区埋立処分地 大阪市此花区夢洲東1丁目地先
⑫ 処理方法	夢洲1区：埋立処理（海面埋立） 夢洲2区：自然由来等土壌海面埋立施設

※ ①、②、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨は、各搬出事業者が事前に基本情報として入力する項目

※ ③、⑧、⑩、⑪、⑫は、【トラックスケールに乗った時に自動認識】される項目

(参考) 汚染土壌・産業廃棄物 管理票

整理番号 202211010083000GW d x 010001Aa0101001

管理票交付者 氏名又は名称、法人にあっては代表者の氏名 住所及び連絡先	①	運搬受託者 氏名又は名称 住所及び連絡先	②	(土壌使用者) 氏名又は名称 住所及び連絡先	③	交付担当者 氏名	④
						交付年月日	管理者 年 月 日
						交付番号	
汚染土壌の特定有害物質による汚染状態 (※該当欄に濃度又はレ点を記入)							
溶出基準 超過		第二溶出基準 超過	溶出基準 超過	第二溶出基準 超過	溶出基準 超過	第二溶出基準 超過	含有基準 超過
<input type="checkbox"/> クロロエチレン <input type="checkbox"/> 四塩化炭素 <input type="checkbox"/> 1,2-ジクロロエタン <input type="checkbox"/> 1,1-ジクロロエチレン <input type="checkbox"/> 1,2-ジクロロエチレン <input type="checkbox"/> 1,3-ジクロロプロペン <input type="checkbox"/> ジクロロメタン <input type="checkbox"/> テトラクロロエチレン <input type="checkbox"/> 1,1,1-トリクロロエタン		<input type="checkbox"/> 1,1,2-トリクロロエタン <input type="checkbox"/> トリクロロエチレン <input type="checkbox"/> ベンゼン <input type="checkbox"/> シマジン <input type="checkbox"/> チオベンカルブ <input type="checkbox"/> チウラム <input type="checkbox"/> PCB <input type="checkbox"/> 有機りん化合物	<input type="checkbox"/> カドミウム及びその化合物 <input type="checkbox"/> 六価クロム化合物 <input type="checkbox"/> シアン化合物 <input type="checkbox"/> 水銀及びその化合物 <input type="checkbox"/> セレン及びその化合物 <input checked="" type="checkbox"/> 鉛及びその化合物 <input checked="" type="checkbox"/> 砒素及びその化合物 <input checked="" type="checkbox"/> ふっ素及びその化合物 <input type="checkbox"/> ほう素及びその化合物				産業廃棄物の種類
							管理票
							運搬体積
							運搬重量
要措置区域等の所在地及び産業廃棄物の排出事業場		⑦		自動車等の番号及び運搬担当者の氏名		運搬区間	
<input type="checkbox"/> 積替え場所 <input type="checkbox"/> 保管場所 名称及び所在地 所有者の氏名又は名称 連絡先		自動車等の番号		担当者氏名		⑨	
<input type="checkbox"/> 積替え場所 <input type="checkbox"/> 保管場所 名称及び所在地 所有者の氏名又は名称 連絡先		自動車等の番号		担当者氏名		⑩	
汚染土壌処理施設の名称及び所在地 (搬出先の自然由来等形質変更時要届出区域又は要措置区域等の所在地)		担当者氏名					
名称 所在地 許可番号		⑪					
引渡しを受けた者の氏名	管理者	処理担当者の氏名(土地の形質の変更をした者の氏名)	管理者	処理方法(土地の形質の変更の方法)	⑫	処理終了年月日(土地の形質の変更を終了した年月日)	管理者
運搬受託者からの返送確認日	管理者 年 月 日	運搬受託者(土地の形質の変更を行った者)からの返送確認日	管理者 年 月 日	備考			

(表記例)

整理番号 : 20221101 083000 GW dx 01 0001 A a01 01 001

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- ① 交付日
- ② 時刻
- ③ 処分場
- ④ 処分先
- ⑤ トラックスケール号機番号
- ⑥ 号機日毎通し番号
- ⑦ 事業者コード
- ⑧ 統括責任者コード
- ⑨ 工区責任者コード
- ⑩ 工事コード

交付番号 : 20221101 GW 01 0001

① ② ③ ④

- ① 交付日
- ② 処分場
- ③ トラックスケール号機番号
- ④ 号機日毎通し番号

表4 処分先名称及び分類

場所	夢洲1区(仮称 GW)		夢洲2区(仮称SE)
名称	g w (グリーンワルド)	d x (ダ イキンヤード)	s e (南東部)
分類	汚染土壌	汚染土壌	シルト汚泥 汚染土壌

注) 夢洲1区の処分場所については、処分先 (gw, dx) が変わるので入力には十分注意すること。

※計量数値の取扱について

計量結果により算定する運搬重量 (t) 及び運搬体積 (m3) の数値は、少数第3位を切り捨て少数第2位とする。

※各工事受注者は、工事基本情報の登録完了後、可能な限りSCOPEに連絡してください。各受注者の登録完了状況をSCOPEが確認して、各工事受注者に対し指導等を行う場合があります。

(5) 土砂運搬(工事着手)準備

土砂運搬(工事着手)に際しては、使用するダンプトラック毎にRFIDタグを装着すること。

また、運転手に対し、搬出先(処分地)を通知するとともに、「トラックスケール利用の注意事項」を周知すること。

運搬時は、以下の内容を日常的に確認すること。

- ・ナンバープレートの破損や著しい汚れがないか
- ・RFIDタグは、当該工事の物であるか
- ・RFIDタグ脱落防止の措置ができているか
- ・運搬車両の両側面に「汚染土壌運搬車」の表示ができているか



(「汚染土壌の運搬に関するガイドライン」参照)

(6) 土砂運搬状況の確認

工事受注者は土砂運搬状況を随時確認すること。SCOPE(連絡会事務局)としても確認し、必要に応じて注意指導を行うことがある。

計量施設設置場所では、以下の内容について確認を行う。

- ・ダンプトラックのナンバープレートの不具合
- ・タイヤ洗浄機の通過状況
- ・トラックスケール上での徐行、停止位置の確認状況など

6-2. 夢洲域内残土運搬予定表の提出

発生残土を適切に受入れるためにも、埋立処理の実施体制を確保するため、各工事受注者は、「土砂搬出開始時運搬計画表」(20日分)〈様式2〉の提出をお願いします。

各工事受注者から提出された予定表の情報は、埋立処理(土地造成)を行う施工業者へ情報提供し、必要重機台数の算定根拠として使用する。

7. 夢洲土地造成監理に係る工事中の手続きについて

7-1. 汚染土壌搬出実績の報告

事業全体（土地造成状況）の進捗状況の把握と適切な造成監理を行うために、各工事受注者へ「週間実績・予定表」の提出依頼する。

「週間実績・予定表」を基に、土地造成工事全体進捗図及び土砂運搬予定数量表を作成し、敷き均し業者、各搬出者への情報共有を図る。

※「週間実績・予定表」＜様式4＞

* 巻末資料1：土地造成進捗状況図

* 巻末資料2：土砂運搬予定数量表

7-2. システムの確認とデータの保存

(1) 確認

日々、計測される管理票のデータにおいては、計量エラーによる不具合が発生する可能性があるため、日常的なチェックと確認を行うこと。

システム管理のユーザー権限を設定し、閲覧、修正、編集、出力が出来るようにする

- 【ユーザー権限A】：大阪港湾局、SCOPE・・・事業全体の閲覧、編集、出力可能
- 【ユーザー権限B】：SCOPE他・・・各工事分の閲覧可能
- 【ユーザー権限C】：事業者（発注者）・・・事業全体の閲覧、編集、出力可能
- 【ユーザー権限D】：統括責任者・・・統括工区内の閲覧、編集、出力可能
- 【ユーザー権限E】：工区責任者・・・担当工区内の閲覧、編集、出力可能
- 【ユーザー権限F】：搬出届出者・・・自工区分の閲覧、編集、出力可能

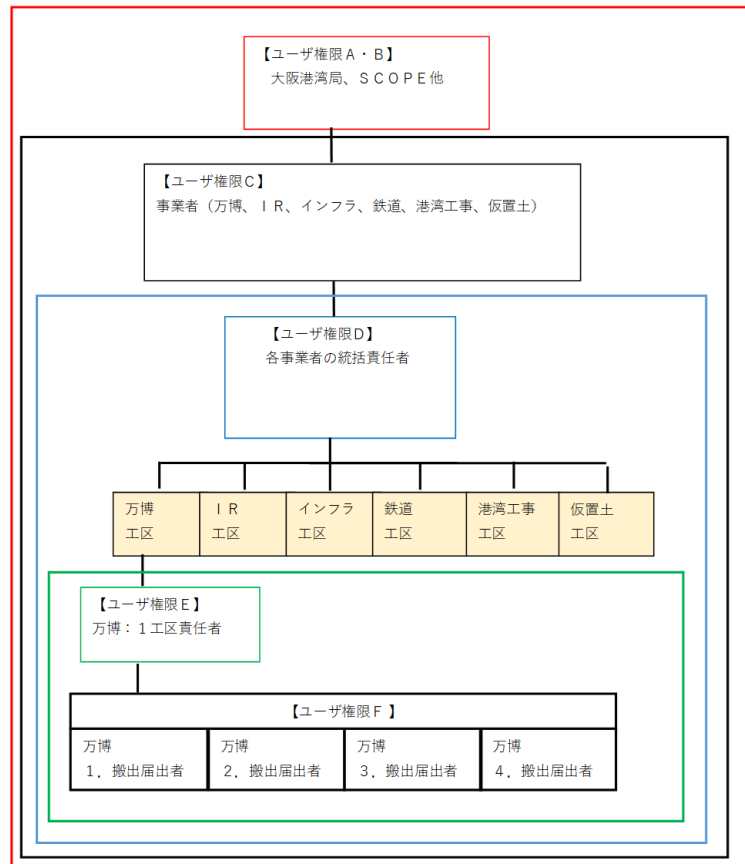


図-8 ユーザー権限イメージ図

(2) 計量エラー

計量エラー発生要因（想定）

- ① 重量計測（トラックスケールの不具合）
- ② 車番読み取り不具合
- ③ R F I D読み取り不具合

表4に計量不具合想定状況を示す。

表4 計量不具合想定表

項目		エラー発生パターン（想定）					
ダンプトラック通過判定		パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6
表示：○ ×		○	○	○	○	×	×
重量計測（トラックスケール） ○, ×		○	○	○	○	○	×
車番認識	車番読み取り ○, ×	×	×	○	×	×	×
	写真保存 ○, ×	○	×	—	○	×	×
R F I D ○, ×		○	○	×	×	×	×
再計量の有無		再計量なし				再計量へ	

＊パターン1及びパターン2のエラー対処は原則各工事受注者が行うこと。上位権限の工区責任者、統括責任者なども対応可能である。

＊システム画面内にエラー発生画面がある。常にチェックし対処すること。

＊エラー発生時に、該当工区へ電子メールが届くので速やかに対処すること。

＊トラックスケール現地でのエラー（パターン5、6）の対処については、【トラックスケール利用の注意事項】を周知し、トラブルが生じないように留意すること。

(3) 保存

管理票は5年間の保存義務がある。

システムより管理票データをダウンロードし、電子媒体（DVDなど）または印刷し紙で、適正に保存すること。

日々、発行される管理票においては、クラウド上に保存されているが、日常的にデータの保存を行うこと。

- ・1か月に1回以上、保存することを原則とする。

8. システムの利用について

(1) システムの運用・管理

システム利用時間

午前8時20分から正午 午後1時から午後4時30分

(ただし、冬季(10月1日～1月31日)の終了時間は、午後4時00分までとする。)

※システム利用は、平日のみとする。
(土・日曜日、祝日は利用を中止する。また、及び年末年始、夏季休暇期間、台風襲来時など大阪港湾局が指定し通知する日は、利用を中止する。)

(留意事項)

- ・計量施設では最徐行とし、係員または、システム信号等に従うこと。
- ・トラックスケール上では、急発進、急停車をしないようにすること。
- ・トラックスケール手前では、タイヤに付着した土砂を落としてトラックスケールに乗ること。

(2) システム利用の中止

「天候」や「システム不具合」等の関係で、システム利用を中止することがある。

(主な中止判断)

- ・事前に荒天が予測される場合(台風、爆弾低気圧、梅雨による長雨、各種警報等など)
- ・翌日の気象予報による作業中止の場合(降雨、降雨量など)
- ・緊急事態が発生した場合(自然災害等による中止など)
- ・突発的なシステム機器等の不具合が生じた場合

システム利用を中止する場合は、

原則、前日の午後5時までに判断し

電子メールで通知する。

※突発的にシステム利用を中止する必要が生じた場合は、随時、速やかに通知する。

作業中止時の連絡体制として示す。

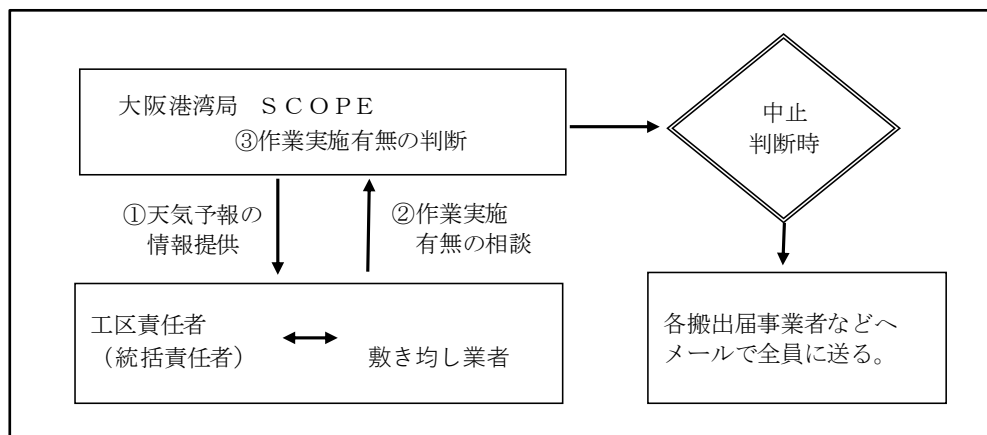


図-9 連絡体制図

(3) システム利用の期間

トラックスケール設置場所	システム利用期間（予定）
1区GW（2基）	令和4年12月～令和6年3月
2区南東部（3基）	令和5年4月～令和6年6月

※利用期間は変更することがある。具体的な期間は随時通知する。

9. 夢洲土地造成監理に係る連絡調整について

(1) 連絡調整の実施方法

- ・「夢洲土地造成監理連絡会」は、定例で開催する予定はなく必要に応じて開催する。
- ・夢洲土地造成に関する連絡調整事項がある場合は、次の方法（手段）で行う。

- ① 会議を開催し議論する。
- ② 電子メール等により通知する。
- ③ 夢洲関係会議の場等でお知らせする。
- ④ その他、電話等で連絡する。

- ・メール送信時の件名ルールについて

事務局が夢洲土地造成監理システムを利用する者から送信されたメールの受信確認を分かり易くするためメール件名については下記のように定型とする。

メール送付内容	メール件名定型文
週間実績・予定表	【管理番号】週間実績・予定表(20221007〔西暦8桁〕)
作業中止(施工者判断分)	【管理番号】作業中止(20221007〔西暦8桁〕)
工程の大きな変更	【管理番号】工程の大きな変更(20221007〔西暦8桁〕)
土砂運搬完了報告	【管理番号】土砂運搬完了報告
上記以外	【管理番号】●●●

*英数字は半角入力

(2) 連絡調整事項

①工程

- ・数社の工事受注者で構成される工区内にて、隣接する工区との工程調整（重機類の台数等）を行い、工区責任者及び統括責任者への連絡を密に行うこと。
- ・工区責任者及び統括責任者は工区内での調整事がスムーズ行えるよう、指導・助言を行う。

②運搬経路

- ・夢洲1区（gw, dxヤード）では内護岸が主な経路となる。
- ・夢洲2区（南東部）では外周道路（G・H護岸沿い）が主な経路となる。
- ・工事進捗状況等により、運搬経路の調整を行う。

③車両台数（交通密度）

- ・夢洲まちづくり関連工事の進捗に伴い夢洲域内の交通密度が非常に高くなる。
- ・週間工程計画に沿って台数管理、台数調整を行う場合がある。

④受入体制ほか

- ・トラックスケールは、夢洲1区（GW）に2レーンを設置し、2区南東部に3レーン設置する。
- ・トラックスケールのメンテナンス等により利用レーンの制限を行うことがある。

10. 夢洲土地造成監理に係る工事完成後の手続きについて

各工事受注者の土砂運搬が完了したら、土砂運搬完了の手続きを行う。

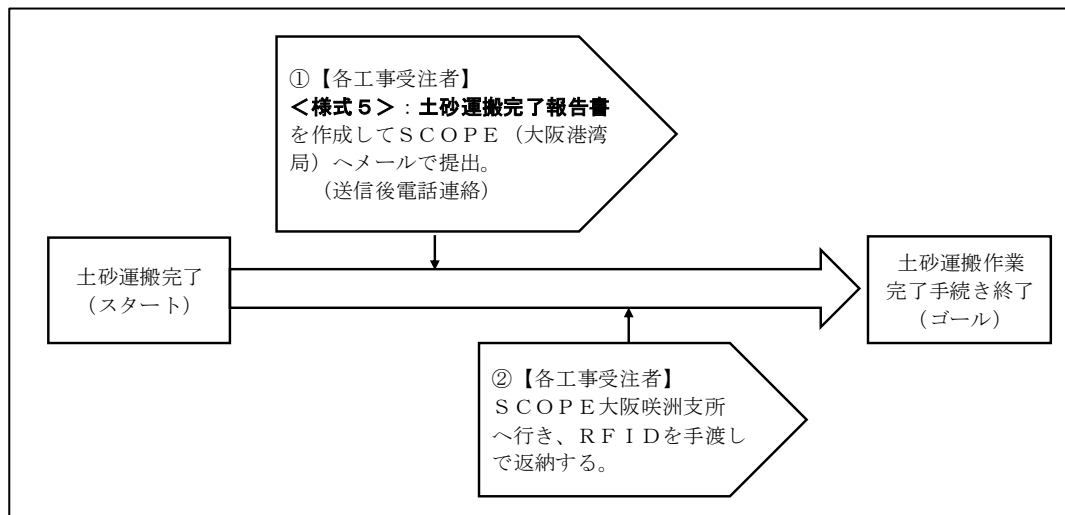


図-10 土砂運搬完了の手続き

※「土砂運搬完了報告書」＜様式5＞

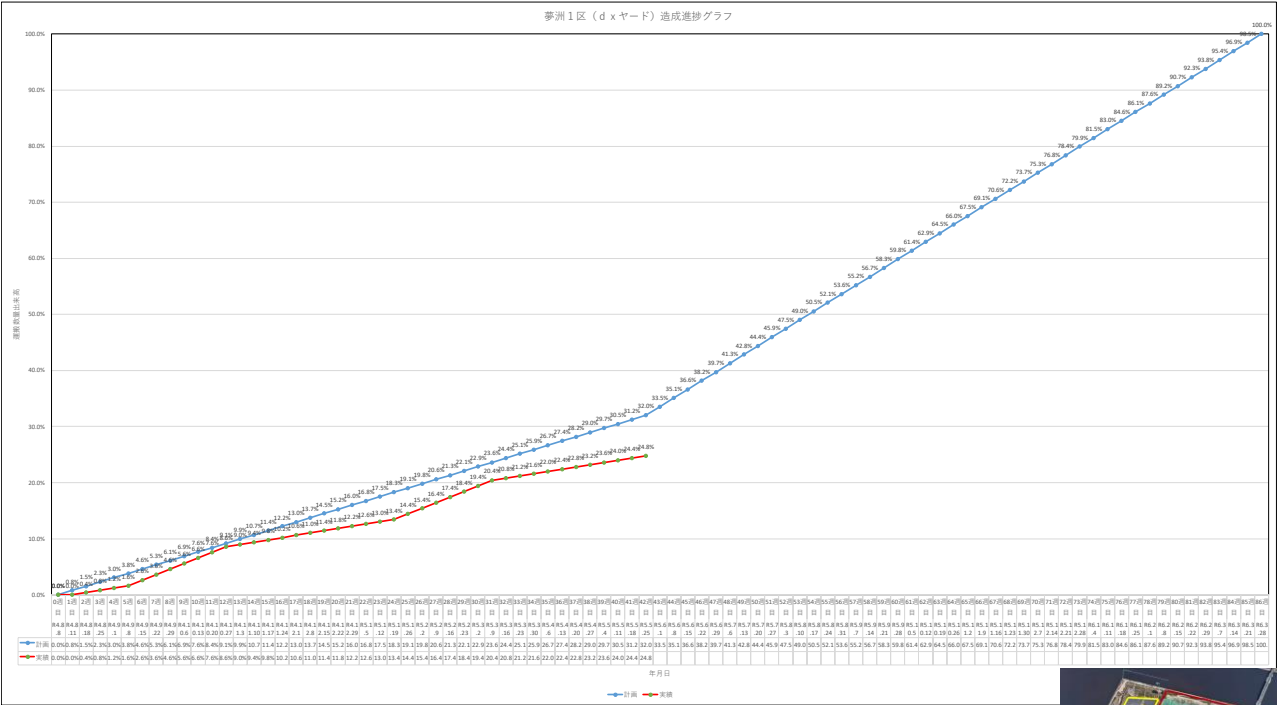
11. その他

(1) 協力要請

夢洲域内の土地造成監理は、各工事関係者の協力がなければ成り立ちません。

「安全第一」と「協力の精神」で皆様のご協力を、何卒よろしくお願いいたします。

巻末資料 1：土地造成工事全体進捗状況



箇所：1区d x 箇所

月日	受入地への運搬 実績数量 (m3)	受入地への計画 数量 (m3)	受入地への運搬 残数量 (m3)	搬入率 (%)
既、5.25	62,000	250,000	188,000	24.8%

記事 現況、開削なく工事進行中



巻末資料 2：土砂運搬予定数表

土砂運搬予定数量表																		単位：m3、台	
			2022/11/18(金)	2022/11/19(土)	2022/11/20(日)	2022/11/21(月)	2022/11/22(火)	2022/11/23(水)	2022/11/24(木)	2022/11/25(金)	2022/11/26(土)	2022/11/27(日)	2022/11/28(月)	2022/11/29(火)	2022/11/30(水)	2022/12/1(木)	2022/12/2(金)	合計	
1 区	GW	数量	520	0	0	1,080	600	800	200	840	0	0	700	500	800	800	800	6,840	
		台数	104	0	0	216	120	160	40	168	0	0	140	100	160	160	160	1,368	
	dx	数量	250	0	0	100	500	600	60	80	0	0	100	600	600	100	100	2,990	
		台数	50	0	0	20	100	120	12	16	0	0	20	120	120	20	20	598	
2 区	南東部	数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

* 計量回数は運搬数量÷5m3で計算

夢洲土地造成監理連絡会会則

(目的と設置)

第 1 条 夢洲における 2025 年国際博覧会の開催や IR の開業に向けた施設の建設事業および関連するインフラ施設の整備事業の工事（以下、「夢洲関連工事」という。）が進捗する中、夢洲関連工事発生残土の埋立処分の監理をはじめとした夢洲土地造成監理を、一元的かつ円滑に実施するための連絡調整、および情報共有を行うことを目的に、「夢洲土地造成監理連絡会」（以下、「連絡会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 連絡会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 夢洲土地造成監理の実施に関する連絡調整および情報共有
- (2) その他夢洲土地造成監理を実施するための必要な事項

(会員)

第 3 条 連絡会は、夢洲関連工事の発注者及び受注者をもって構成する。

- 2 その他夢洲土地造成監理を実施するために必要な関係者を会員とすることができる。

(事務局)

第 4 条 連絡会の事務局は、大阪港湾局計画整備部工務課（環境保全担当）がその任を担い、一般財団法人港湾空港総合技術センター（SCOPE）が事務を補佐する。

(会議)

第 5 条 会議は、事務局が招集し、主宰する。

- 2 会議は、他の会議と共同で開催することができる。

(その他)

第 6 条 本会則に定めのない事項及び疑義の生じた事項については、その都度協議を行い決定する。

付 則

この会則は、令和 4 年 9 月 1 日から適用する。

汚染土壌・産業廃棄物 管理票



整理番号

資料 2

管理票交付者	氏名又は名称、法人にあっては代表者の氏名		運搬受託者	氏名又は名称		(土壌使用者) 処理受託者	氏名又は名称		交付担当者の氏名						
	住所及び連絡先			住所及び連絡先			住所及び連絡先		交付年月日	年 月 日					
									交付番号						
									産業廃棄物の種類						
汚染土壌の特定有害物質による汚染状態 (※該当欄に濃度又はレ点を記入)															
		溶出量基準 超過	第二溶出量基準 超過			溶出量基準 超過	第二溶出量基準 超過			溶出量基準 超過	第二溶出量基準 超過	含有量基準 超過	産業廃棄物の種類		
<input type="checkbox"/> クロロエチレン				<input type="checkbox"/> 1,1,2-トリクロロエタン				<input type="checkbox"/> カドミウム及びその化合物					荷姿		
<input type="checkbox"/> 四塩化炭素				<input type="checkbox"/> トリクロロエチレン				<input type="checkbox"/> 六価クロム化合物						運搬 体積	
<input type="checkbox"/> 1,2-ジクロロエタン				<input type="checkbox"/> ベンゼン				<input type="checkbox"/> シアン化合物							運搬 重量
<input type="checkbox"/> 1,1-ジクロロエチレン				<input type="checkbox"/> シマジン				<input type="checkbox"/> 水銀及びその化合物					m ³		
<input type="checkbox"/> 1,2-ジクロロエチレン				<input type="checkbox"/> チオベンカルブ				<input type="checkbox"/> セレン及びその化合物						t ・ kg	
<input type="checkbox"/> 1,3-ジクロロプロペン				<input type="checkbox"/> チウラム				<input checked="" type="checkbox"/> 鉛及びその化合物		✓		✓			
<input type="checkbox"/> ジクロロメタン				<input type="checkbox"/> PCB				<input checked="" type="checkbox"/> 砒素及びその化合物		✓		✓			
<input type="checkbox"/> テトラクロロエチレン				<input type="checkbox"/> 有機りん化合物				<input checked="" type="checkbox"/> ふっ素及びその化合物		✓		✓			
<input type="checkbox"/> 1,1,1-トリクロロエタン								<input type="checkbox"/> ほう素及びその化合物							
要措置区域等の所在地及び産業廃棄物の排出事業場						自動車等の番号及び運搬担当者の氏名			運搬区間			引渡し年月日			
積替え又は保管場所	<input type="checkbox"/> 積替え場所 <input type="checkbox"/> 保管場所		自動車等の番号				担当者氏名				↓			年 月 日	
	名称及び所在地 所有者の氏名又は名称 連絡先														
	<input type="checkbox"/> 積替え場所 <input type="checkbox"/> 保管場所														
	名称及び所在地 所有者の氏名又は名称 連絡先														
汚染土壌処理施設の名称及び所在地 (搬出先の自然由来等形質変更時要届出区域又は要措置区域等の所在地)		自動車等の番号				担当者氏名				↓			年 月 日		
名称 所在地 許可番号															
引渡しを受けた者の氏名		処理担当者の氏名 (土地の形質の変更をした者の氏名)				処理方法 (土地の形質の変更の方法)				処理終了年月日 (土地の形質の変更を終了した年月日)	年 月 日				
運搬受託者からの返送確認日	年 月 日	処理受託者 (土地の形質の変更を行った者)からの返送確認日	年 月 日			備考									

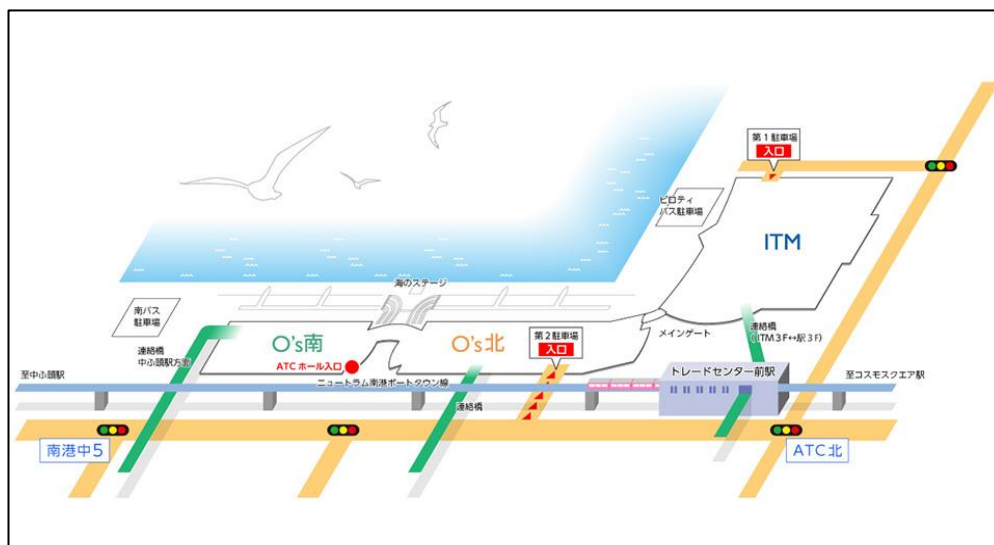
一般財団法人 港湾空港総合技術センター (SCOPE) 大阪咲洲支所 位置図

住所：〒559-0034

大阪市住之江区南港北2丁目1番10号 ATCビル I TM棟4階J-3
電話番号：06-6105-0255

メールアドレス：yumeshima@scopenet.or.jp

I TM棟6号エレベーターを使用し、4階で降りる。



4階で降り、正面の地図参照



J-3入口



〈様式1〉

令和 年 月 日

大阪港湾局 様
SCOPE 様

申請者：〇〇建設株式会社
(搬出届出会社名)
氏名： 現場代理人

夢洲土地造成監理システム利用申請書

夢洲において土砂搬出工事に着手するため、夢洲土地造成監理システムの利用について、次のとおり申請いたします。

発注者

工事名称

請負会社名

担当者名

連絡先 事務所電話番号

携帯電話番号

メールアドレス：

メールアドレス：

メールアドレス：

R F I Dタグ本数 本

添付資料 ・ 「汚染土壌の区域外搬出届出書」受理の写し
(施工計画書含む)

・ 「土砂搬出開始時運搬計画表」 (様式2)

SCOPE (e-mail)
yumeshima@scopenet.or.jp

工事名：	現場代理人氏名：
請負者：	連絡先：電話番号：
工期：	連絡先：メールアドレス：

土砂搬出開始時運搬計画表

年月日	運搬予定数量 (m3)				ダンプトラック台数 (当日入場台数)		
	1区 (gw)	1区 (dx)	2区 (se)	仮置き	1区 (gw)	1区 (dx)	2区 (se)
2022/11/4(金)							
2022/11/5(土)							
2022/11/6(日)							
2022/11/7(月)							
2022/11/8(火)							
2022/11/9(水)							
2022/11/10(木)							
2022/11/11(金)							
2022/11/12(土)							
2022/11/13(日)							
2022/11/14(月)							
2022/11/15(火)							
2022/11/16(水)							
2022/11/17(木)							
2022/11/18(金)							
2022/11/19(土)							
2022/11/20(日)							
2022/11/21(月)							
2022/11/22(火)							
2022/11/23(水)							
合計数量	0	0	0	0	0	0	0

記事欄

〈様式3〉

令和 年 月 日

(会社名)
(氏 名)

様

大阪港湾局
S C O P E

夢洲土地造成監理システム利用受領書

令和○年○月○日付けのシステム利用申請について、管理番号の通知及びI D、パスワードの交付及びR F I Dタグを支給します。

管理番号

I D :

パスワード :

R F I Dタグ本数 本 (～)

注意事項

- ・ I D、パスワードの取扱には十分注意を払い、他者への流出がないようにすること。
- ・ 大阪港湾局及びS C O P E より資料提供を受けた際は、協力すること。
- ・ R F I Dタグは、マグネット式でダンプトラックに装着するので、振動等で外れる恐れがあるので、別途脱落防止対策（紛失）を行うこと。
（また、紛失した場合は、早急に届け出を行う事。タグが無い場合は、運搬作業に従事出来ません。）
- ・ 土砂運搬が完了したら、土砂運搬完了報告書と併せてR F I Dタグを返却すること。

*週間実績・予定表及びその他メールの管理番号とする。

SCOPE (e-mail)
yumeshima@scoopenet.or.jp

週間実績・予定表									
工事名 請負業者名		日付け yyyy/mm/ddで入力 mm月dd日(aaa)で表示				現場代理人氏名 連絡先			
		今週の実績数量							
		運搬数量 (m3)				ダンプトラック台数 (計量回数)			
		1 区		2 区	仮置場	1 区		2 区	仮置場
gw	dx	se	gw	dx		se			
管理 番号	月日(曜日)				例				セル 結 合 禁 止
	10月14日(金)	250.56				50			
	10月15日(土)	300.15				60			
	10月16日(日)	260.80				52			
	10月17日(月)	450.50				90			
	10月18日(火)	450.69				90			
	10月19日(水)	580.18				116			
	10月20日(木)	600.58				120			
週間実績合計		2893.46				578			
		2 週間予定数量							
		運搬数量 (m3)				ダンプトラック台数 (当日入場台数)			
		1 区		2 区	仮置場	1 区		2 区	仮置場
gw	dx	se	gw	dx		se			
管理 番号	月日(曜日)				セル 結 合 禁 止				
	10月21日(金)	500				10			
	10月22日(土)								
	10月23日(日)								
	10月24日(月)	500 150				8 4			
	10月25日(火)	250 100				4 4			
	10月26日(水)	250				4			
	10月27日(木)	300				8			
	10月28日(金)	600				5			
	10月29日(土)								
	10月30日(日)								
	10月31日(月)	500 200				10 3			
	11月1日(火)	600 100				12 3			
	11月2日(水)	400 100				10 3			
	11月3日(木)	800				8			
	11月4日(金)	200			5				
週間予定数量合計		4,900 650			84 17				
記事		予定数量は、整数とします。				当日使用する台数を入力します。			

<様式5>

令和 年 月 日

大阪港湾局 様
SCOPE 様

申請者：〇〇建設株式会社
(搬出届出会社名)

氏名： 現場代理人

土砂運搬完了報告書

次の工事について土砂搬出が完了したので、夢洲土地造成監理システム利用について貸与されたRFIDタグを返却します。

管理番号

工事名称

請負会社名

RFIDタグ本数 本 (～)